

HK Foreign Direct Investment

2017年度予算、多様性のある経済発展を推進

政府は前年度に引き続き、アジアにおける投資・金融・物流の拠点としての香港の地位を更に強化します。貿易や投資における主要パートナーと連携し、市場の更なる開放や市場の障害除去に取り組みます。

ポール・チャン(陳茂波)財政長官は2月22日、2017年度予算を発表しました。2016年の経済成長率は1.9%でしたが、2017年は2~3%となる見通しです。2016年の消費者物価指数は2.4%、基調インフレ率は2.3%でした。2017年の消費者物価指数は1.8%、基調インフレ率は2%となる見通しです。

支柱産業の強化

香港の安定した経済成長の主な牽引役となっているのは、国内総生産(GDP)の18%を占める金融サービス業です。今後も香港は、世界的なオフショア人民元ハブとしての地位を強化し、中国本土当局との連携の下、中国本土・香港間の人民元建て資金の双方向クロスボーダー取引ルートの拡充に努めます。

資産管理運用業界を発展させるために、政府は所得税免除の対象をオンショアのオープンエンド型私募投資信託へと拡大することを提案しています。これにより、更に多くのファンドが香港を組成地として選び、香港におけるファンド組成機能の充実が見込まれます。

海運業界については、インベスト香港が海外や中国本土での企業誘致活動を推進します。香港をアジア地域の海運ハブとして、ならびに中国本土と世界各国の海運業界を結ぶプラットフォームとして発展させることに重点を置きます。

香港、珠海、マカオを結ぶ「港珠澳大橋」の完成の後、政府は航空業界推進のため、香港と珠江デルタ地域の接続の利便性を高める方法を模索します。中国本土・香港間のヘリコプター輸送が、接続性向上の方法として検討されます。

航空業界向けファイナンスの発展を目的として、航空機リース会社を香港に誘致するための税金軽減措置の導入を政府は計画しています。そのための税務条例改正草案が2017年内に立法会にて提出します。

成長著しい越境EC業界に乗じて、機場管理局(空港管理局)は増加する積み替え、越境EC、高付加価値航空輸送事業を支える目的で、エアサイド(空港職員・搭乗客のみ立ち入り可能区域)及びランドサイド(空港職員・搭乗客以外の人も立ち入り可能な区域)の両側に事業用地を確保しています。同管理局は、医薬品など温度管理の必要な高額商品を取り扱う機能を向上させ、同空港の競争力を高めるための取り組みを進めています。

2017年度、香港の観光業界には以下の分野における施策の予算として2億4,300万ドルが配分されます。①ライトショーと地元の大イベント、②地元の特徴とグリーンツーリズムを取り入れた観光プロジェクト、③トランジット旅客、宿泊旅行者及びクルーズ観光客向けプロジェクト、④中国本土および外国における広報の強化、⑤香港旅遊業議會(旅行業評議會)の研修によるサービスの質の向上。

新産業の推進

「香港は支柱産業を強化しつつ、あらゆる機会をとらえ、既に強みを持っている業界の発展を支えると同時に新産業を支援します。香港経済の多様性を高めることに努めます。」と財政長官は述べました。

同長官は香港のイノベーションとテクノロジー(I&T)の発展及び再工業化のため、新たに専門委員会を設置しました。また新設の税務政策部局が、I&Tに関わる支出に対する減税の強化を検討します。

スタートアップ支援も継続されます。その一つに20億ドルのI&Tベンチャー・ファンドがあります。同ファンドはテクノロジー分野のスタートアップに新たな資本とエネルギーを注入します。

フィンテック(金融サービスへのIT技術の活用)の発展を支援するために、香港金融管理局は24時間体制の銀行間即時決済を可能にする新しいスピード決済システムの開発を進めています。また政府は業界に対し、フィンテック・レギュラトリー・サンドボックスが提供するテスト環境を活用し、各種の新しいテクノロジーを用いた商品やサービスを開発するよう、奨励しています。

クリエイティブ業界では、香港をトレンドを発信するクリエイティブ・ハブへと発展させ、芸術と文化あふれる大都市を形づくることをビジョンに据えています。映画、デザイン、ファッション、アニメ、広告、音楽などの分野ではいずれも、過去に政府の資金支援を受けています。

返還20周年を迎えた2017年、政府は一連の祝賀イベントを後援し、香港のクリエイティブ業界の目覚ましい発展を披露します。

海外および中国本土へのネットワーク拡大

近年、世界の経済成長の重心が東洋に傾いてきた中で、中国本土企業は海外投資や海外市場への進出に積極的な姿勢を見せています。香港は質の高い専門サービスや社会・文化面における先進性と豊富な国際ビジネス経験を活用し、ビジネスの機会をつかむことができます。

政府は香港の商業界や専門家のために新しい市場の開拓に向けた取り組みを続けています。昨年、インドネシアに香港経済貿易代表部が新設され、今後は韓国、インド、メキシコ、ロシア、南アフリカ、UAEにも設置される予定です。また中国本土における出先機関のネットワークも強化し、中国本土内全域の市場に届くよう広がっていきます。

www.budget.gov.hk

中小企業支援策

- ブランド開発・事業高度化および中国本土販売促進基金(Dedicated Fund on Branding, Upgrading and Domestic Sales)の申請期限が5年間延長され、2022年6月までとなります。香港企業の中国本土における事業開発を支援することが目的です。
- 中小企業に必要な流動性資金の確保を支援するために、中小企業融資保証スキーム(SME Financing Guarantee Scheme)に基づく特別優遇措置の申請期限が2018年2月28日まで延長されます。
- 香港出口信用保険局(The Hong Kong Export Credit Insurance Corporation)の保険引受能力を強化するために、保険契約に基づく同局の不確定責任の上限を400億ドルから550億ドルに引き上げます。



国際イベント・スケジュール

3月21～25日 香港

Art Basel in Hong Kong

大成功を収めた2016年に続き、本展示会は世界各国の芸術作品（うち半数はアジア及びアジア太平洋地域から）が出展される最高のプラットフォームです。第一線で活躍する巨匠の歴史的な作品から、新進気鋭の芸術家による最先端の作品まで幅広く出展され、アジア地域の多様性に深く触れることができます。

場所: *Hong Kong Convention & Exhibition Centre*

主催: *Asian Art Fairs Ltd*

artbasel.com/hong-kong

4月1日 香港

Soñar Hong Kong

1994年にバルセロナで初めて開催された Sónar フェスティバルは、音楽や創造性、テクノロジーをひとつに結ぶイベントです。今回が初となる Sónar 香港では、定評あるアーティストと、頭角を現しつつある才能豊かなパフォーマーが絶妙にミックスされ、ライブや DJ、ダンス、実験的なエレクトロニカ音楽など、さまざまなパフォーマンスを楽しむことができます。

場所: *Hong Kong Science Park*

主催: *Magnetic Asia Ltd*

sonarhongkong.com

4月11日 東京

昼食講演会

香港科技大学 学長 Tony F Chan (陳繁昌) 教授は、日本のテクノロジーハブやビジネスコミュニティ、スタートアップの皆様に向けて、「イノベーションとテクノロジー: 香港経済のもう一つの柱」をテーマに昼食講演会を開催します。併せて、インベスト香港 局長代理 チャールズ・ング (吳国才) が香港の最新のビジネス環境を紹介します。

場所: 東京

主催者: 香港科技大学、香港経済貿易代表部 (東京)

講演: インベスト香港、香港貿易發展局 東京事務所

4月19日 香港

GTR Asia Trade & Supply Chain Finance Conference 2017

第3回開催となる同カンファレンスは、今年もアジア各国の第一線で活躍する貿易金融やサプライチェーン金融の専門家が集う交流の場を提供します。

場所: *JW Marriott Hotel, Hong Kong*

主催: *Global Trade Review*

gtreview.com/events/asia/gtr-asia-trade-supply-chain-finance-conference-2017

■ インベスト香港主催行事

詳細については、www1.investhk.gov.hk/events をご覧ください。



特集: StartmeupHK Festival 2017

StartmeupHKフェスティバルが今後を予見

2017年1月16～20日に開催された StartmeupHK フェスティバルは5,000名を超える参加者を集めました。小売業界のイノベーション、ファッションテクノロジー、スマートシティ、フィンテック、ヘルスケアテクノロジーといった幅広いテーマについて数々のイベントが開催されました。

StartmeupHK Venture Forum

1月17日にインベスト香港の主催で行われたメインイベント StartmeupHK Venture Forum には、香港および海外から1,000名を超える起業家や投資家が参加しました。商務経済発展長官 グレゴリー・ソー(蘇錦樑)は開会講演の中で、起業家が集う香港は世界で最も成長著しいスタートアップのハブと位置付けられ、着想から商業化に至るまでのすべてのステージでイノベーションを育てるハブとなっている、と述べました。「活力と起業家精神にあふれる都市として名高い香港には、次世代の Disruptor (創造的破壊者)が新たなビジネスを生み出し、テストし、提案し、立ち上げるために適した環境と、それを容易にするためのすべての材料が揃っています」。

同イベントには、以下の講演者を含め、多くの方々が登壇されました。

- Brett King 氏: ベストセラー作家、The Moven mobile banking service 共同創業者
- Dennis Lo 教授: 香港中文大学 健康科学研究所 所長
- Marco Tempest 氏: サイバー・マジシャンとして活躍中
- Pindar Wong 氏: インターネットのパイオニアである香港 VeriFi 社 会長
- Joseph Lubin 氏: Ethereum 共同創業者、ConsenSys 創業者

Retail's Cutting Edge

1月16日

Inside Retail Asia 主催の Retail's Cutting Edge(小売業界の最先端)では、著名な Disruptors (創造的破壊者)が小売の現場でブランド育成や商品の選択、購入においてどのようにテクノロジーを活用しているのかという点に着目しました。講演者には「ビジネス界の最も影響力ある女性100人」に選ばれた Alexis Wong 氏が招かれ、着想から結実までの新規事業立上げの旅路について語りました。また Grana.com の創業者および CEO である Luke Grana 氏は自身のビジネスモデルが小売業界のそれまでのあり方を大きく変えたことや、香港の消費者は数年と言わず数か月以内にメインストリートの小売店の変容を目にするほどに小売業界で用いられる方法や技術が急速に変化するものであることを熱く語りました。

Fashion Tech Asia

1月16日

夕方開催されたこのイベントでは、最初にパネルディスカッションが行われました。ファッションテック界のスタートアップやファッション関連メディア、ベンチャーキャピタル、スタートアップ・アクセラレーターの代表者により、テクノロジーが可能にするファッションの未来について議論が交わされました。



香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局

The Connected City

1月17日

KPMG と Smart City Consortium の共同主催による同カンファレンスでは、変化する巨大都市の動態・人口統計・成長や、巨大都市を生活可能、実現可能かつ持続可能にする必要性がテーマとされました。ウィーン、中国本土、シンガポール、ソンド（韓国）のスマートシティ・ソリューションについて業界専門家が話をしたほか、「香港の未来」、「より良い香港を実現するテクノロジー」、「ヒトやモノをつなぐ次世代のテクノロジー起業家と支援」などのトピックについてパネルディスカッションが行われました。他にもモノのインターネットやデータ分析、再生可能エネルギーの広がりについて議論が交わされました。

Fintech Finals 2017 (FF17)

1月18～19日

Fintech Finals2016 (FF16) の成功を受け、FF17 も2日間で約60名の講演者を迎え、充実したイベントとなりました。MIT Media Lab のシニアアドバイザー（Blockchain Opportunities 担当）Michael Casey 氏による開会基調講演では、分散型・非中央集中型の構造を有するIoTの世界でブロックチェーンがいかにソリューションとなり得るかということが述べられました。分科会では、フィンテックハブ、ブロックチェーン、レグテック（Regulation(規制)& Technology）、インシュアテック（Insurance(保険)&Technology）、資産管理といったトピックが取り上げられました。同イベントのもう一つの目玉はFF17ピッチコンテストでした。世界各国から選ばれたスタートアップ24社が事業計画を売り込み、最優秀賞1万米ドル、最優秀創半期企業賞、最優秀成長期企業賞、最優秀成熟期企業賞をかけて競いました。

Health Tech Asia

1月20日

APAC BioHealth 主催による Health Tech Asia では、新たなテクノロジーやプロセス改善によりコストが下がり、全ての人がヘルスケアを手頃な価格で利用可能になるという明るい見通しが示されました。開会基調講演では、英 Now Healthcare Group の Lee Dentith 氏および Tim Ng 氏が、新たな医療テクノロジーがどのようにヘルスケアの提供を破壊的に変容させているかを論じました。その後 TRT International の Alex Cahana 博士より、バーチャル・リアリティとヘルステックという最も注目されているテクノロジーの2分野を結びつけたデジタル総合ケアについての講演がありました。最後に、ヘルステック投資のトレンドとインキュベーションプログラムの影響に関する2つのパネルディスカッションが行われ、健康の重要要素について取り上げた1週間にわたるイベントを締めくくりました。



進出事例

“お客様からのご意見を一番に受け止め、
現地の食のトレンドを知り、我々のスタッフの懸念事項をすぐに理解し、
そしてこの変化の速い香港市場に適応していくためには、
私が香港に滞在していることは非常に重要です。”

和民國際有限公司
社長 桑原 豊氏

日本料理の普及に邁進

和民國際有限公司 (Watami International Co., Ltd) は、2000 年に香港で設立され、以来多様な飲食ブランドを確立し、現在28店舗を展開しています。そして今、さらに新しいコンセプトを香港にもたらし、事業を拡大しています。

2001 年に開店した「和民」は、香港で最初の居食屋(食事を重視する居酒屋)コンセプトのお店で、日本国外第 1 号店です。「日本では人口が減少し市場規模が縮小していく中、経済成長によりビジネスを発展させる機会のある海外市場への進出は、ワタミグループにとって重要です。香港はワタミグループに事業拡大の機会をもたらすだけでなく、中国本土と隣接している戦略的立地条件が、最新情報入手し中国本土市場に進出するのに役立っています。」と社長の桑原豊氏は述べています。

多様なブランドの立ち上げ

和民國際有限公司は、「和民」を 17 店舗、より広い顧客層をターゲットとした「和亭」を 5 店舗、フュージョン地中海料理の「Gochiso」を 4 店舗、そしてサンドウィッチやピザを提供する「Kitchen J」を展開しています。また同社は、最近新たに二つのプロジェクトを始動しました。繁華街であるコーズウェイベイ(銅鑼灣)に焼鳥屋「Firebird」を開店し、「饗 和民」という新しいコンセプトの高級居食屋を「和民」コーンヒル(康怡)店で展開しています。両店舗の内装デザインとメニューは日本の専門家の手によるもので、料理の材料もまた日本から輸入した食材を使用しています。

「桑原氏は、最近のグルメな人々は現地の嗜好に合わせた日本食ではなく、日本の本物の味や雰囲気を探求していることを理解しています。そのため、「饗 和民」を立ち上げると決めた時、最初から最後まで日本の要素をきちんと取り入れることは必須でした。「日本は香港人にとって、最も人気のある旅行先の一つです。多くの香港人は日本の料理に親しんでおり、真の日本食を知っています。お客様からのご意見を一番に受け止め、現地の食のトレンドを知り、我々のスタッフの懸念事項をすぐに理解し、そしてこの変化の速い香港市場に適応していくためには、私が香港に滞在していることは非常に重要です。」と桑原氏は述べています。

「インベスト香港のサポートにより、私は自身の考えに対して適時にアドバイスを受けることが出来ます。また、インベスト香港が主催するネットワーキングイベントは、私のネットワークと新しいビジネス機会を広げるのに多いに役立ちます。」

現在、同社は 1,000 人のスタッフを雇用し、その 95%が地元従業員です。「香港人は非常に自立して



おり、勤勉で、新しいスキルを習得することに対しいつも意欲的です。」と、同氏は付け加えました。

香港以外でも、ワタミグループは上海、深圳、広州、蘇州、シンガポール、韓国、台湾、フィリピンそしてカンボジアと、アジア各地で店舗を展開しています。将来の事業計画について桑原氏は、変化し続けるマーケットに応え、さらに顧客層を広げるため、多種多様なブランドを展開したいと考えています。

和民國際有限公司 (Watami International Co., Ltd)

- 2001年に香港に初めて居食屋「和民」1号店を開店
- 同社は現在香港で様々な飲食ブランド 28 店舗を展開し、1,000 人の地元従業員を雇用している

Watami-int.net

